　別紙様式第1号

主指導教員承認印 氏名

学　位　申　請　書

　　　　年　　月　　日

　　埼 玉 大 学 長　　殿

申請者

人文社会科学研究科（博士後期課程）

　　 年度入学　経済経営専攻

氏名

　　国立大学法人埼玉大学学位規則第５条第２項の規定により、下記論文を添えて申請します。

記

学 位 論 文 ５部（正本１部、副本４部）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 論文題目 | | |
|  | 学籍番号 |  |
|  | |

　別紙様式第2号

学　位　論　文　要　旨

専攻名

氏　名

１　題　目

２　要　旨（２，０００字程度にまとめること。）

　別紙様式第3号

論　　　文　　　目　　　録

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 専 攻 名 |  | 氏　　名 |  |
|  | | | |

　別紙様式第4号

履　　　歴　　　書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな 男  氏　　名 女  年　　月　　日生（満　　歳） | | | 本 　　籍  （都道府県名　のみ記入） | 都・道  　　　 　府・県 |
| 〒 電話（　　　）　　　　―  現 住 所 | | | | |
| 区 分 | 年　　　月　　　日 | 事　　　　　　　　　　項 | | |
| 学  歴 | 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 職  歴 | 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 学 お  会 け  等 る  に 活  動 | 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 賞  罰 | 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 年　　月　　日 |  | | |
| 上記のとおり相違ありません。  　　　　　年　　　月　　　日  氏　　　名 | | | | |

様式１

学位論文の埼玉大学機関リポジトリによる公表申請書

　　　　年　　月　　日

埼玉大学長　殿

　私が執筆した下記の学位論文について、（１．論文の全文　２．論文の要約）を埼玉大学機関リポジトリにより公表することを申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 論文名 |  |
| 学籍番号（所属） |  |
| （フリガナ）  氏名（要自署又は記名押印） |  |
| 学位取得後の連絡先（Tel・e-mail） | Tel :  e-mail : |
| 指導教員（紹介委員）氏名  （要自署又は記名押印） |  |
| 学位授与日 | 令和　　年　　月　　日 |
| 学位授与番号 | □甲　□乙　第（　　　　）号 |
| 学位の種類 | 博士（学術）（経済学）（経営学）（理学）（工学） |
| 公表の内容  （□にチェックをいれてください） | □論文全文を公表します。  □論文全文が公表できないので、論文の要約の公表とします。  →様式３「学位論文の埼玉大学機関リポジトリへの公表保留申請書」を併せて提出してください。 |
| 特記事項（登録・公表の条件） |  |
| 権利処理（※） | □確認しました。問題ございません。 |

　記載された情報は、目的外に使用しません。

（※）権利処理について

・この申請書は、論文の複製と公衆送信について許諾をいただくものです。

・この申請書をもって、著作権を譲渡していただくものではありません(著作権者に権利は残ります)。

・必ず以下のリポジトリ公開の許諾をとって下さい。

1).出版済もしくは出版予定がある場合は、出版者へリポジトリ公開の許諾を得る必要があり

ます。

　　2). 共著者のいる論文については、共著者全員の許諾を得る必要があります。

　　3). 図版・写真・顔写真・新聞記事を使用している場合は、出版者等の許諾を得る必要があり

ます。

　　4). 特許･実用新案申請の出願（出願中・出願予定）がある場合は、公開可能日の確認をする

　　　　必要があります。　様式２

論　文　の　要　約

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 報 告 番 号 | 甲  　　　　　第　　　　　号  乙 | | 氏　名 |  |
| 学位論文題目 | |  | | |
| 論文の要約  ※「目的・問題提起・考察・まとめ」のように論文の構成に沿ったかたちでまとめられたもので、 論文の中身が分かるもの | | | | |

様式３

学位論文の埼玉大学機関リポジトリへの公表保留申請書

　　　　年　　月　　日

埼玉大学長　殿

　私が執筆した下記の学位論文について、論文の全文を埼玉大学機関リポジトリにより公表することの保留を申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 論文名 |  |
| 学籍番号（所属） |  |
| （フリガナ）  氏名（要自署又は記名押印） |  |
| 指導教員（紹介委員）氏名  （要自署又は記名押印） |  |

１．埼玉大学機関リポジトリに論文全文の公表を延期する場合

　　やむを得ない事由があり、論文の公表を延期する場合は、事由と公表可能日を記入してください。審査の上事由が認められれば、論文全文の公表までの間は、論文の要約(様式２)の公表となります。

なお、下記事由の消滅後は必ず様式４「学位論文の埼玉大学機関リポジトリによる公表保留事由消滅に係る報告書」を提出してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | リポジトリ公表保留事由 | 公表保留事由消滅に係る報告書の提出時期 |
| □図書出版 | □出版済み（又は出版予定【令和　　年　　月予定】）で、出版社の著作権ポリシーを確認した結果、（　　　　　　　　　　）まで公表することができない。 | 公表可能日  （直後） |
| □出版予定【令和　　年　　月予定】であり、出版社の著作権ポリシーを確認することができない。 |
| □学術誌等への掲載 | □掲載済み（又は掲載予定【令和　　年　　月予定】）で、出版社または学会の著作権ポリシーを確認した結果、（　　　　　　　　　　）まで公表することができない。  　　　　　　雑誌第　　巻第　　号　　ページ～　　ページ | 公表可能日  （直後） |
| □掲載予定【令和　　年　　月予定】であり、出版社または学会の著作権ポリシーを確認することができない。  　　　　　　雑誌第　　巻第　　号　　ページ～　　ページ |
| □特許・実用  　新案出願 | □特許出願予定又は審査中（出願公開前）  【出願（予定）：令和　　年　　月】 | 出願公開日  （直後） |
| □実用新案出願予定又は審査中  【出願（予定）：令和　　年　　月】 | 登録日（直後） |
| □その他 | （具体的な事由を記入してください。） | 事由の消滅日 |

※　保留事由についての証拠書類を添付のこと

２．埼玉大学機関リポジトリに論文全文を公表できない場合

　　論文全文の公表ができないやむを得ない事由があり、論文の要約での公表を希望する場合は、その事由を記載してください。審査の上事由が認められれば、論文の要約の公表となります。

|  |  |
| --- | --- |
| 全文の公表ができない事由 | （具体的な事由を記載してください） |

（記入例１）学位論文が立体形状による表現等を含み、インターネット公表ができない。

（記入例２）個人情報に係る制約がある場合

※以下の欄は学位申請者は記載しないでください。

研究科担当係記載

|  |  |
| --- | --- |
| 人文社会科学研究科  教授会・代議員会  審査日  （令和　年　月　日） | □論文全文を公表とします。  □論文全文の公表ができないと認め、論文の要約の公表とします。　論文全文非公開の期間（令和　　年　　月　　日まで・未定） |

学務部記載

|  |  |
| --- | --- |
| 承認日  （令和　年　月　日） | □論文全文を公表とします。  □論文全文の公表ができないと認め、論文の要約の公表とします。　論文全文非公表の期間（令和　　年　　月　　日まで・未定） |

◆論文全文の公表ができない場合について

・埼玉大学では、平成２５年４月以降に学位を授与した学位論文は、原則として埼玉大学機関リポジトリにその全文を登録・公表する必要があります。

・やむを得ない事由がある場合は、大学の承認を受けて、学位論文の全文に代えてその内容を要約したもの（論文内容の要旨とは異なります)の登録・公表とすることができます。

・その後の情勢の変化でやむを得ない事由がなくなった場合は、学位論文を埼玉大学機関リポジトリに登録・公表する必要があります（※事由の消滅後は必ず様式４「学位論文の埼玉大学機関リポジトリによる公表保留事由消滅に係る報告書」を研究科担当係へ提出してください）。

・公表できない事由を記載していても、大学の審査でやむを得ない事由ではないと判断された場合は、学位論文全文を登録・公表する必要があります。

・公表できないやむを得ない事由がある場合においても、適正な申請に基づいて論文の全文を閲覧させることとなります。

様式４

学位論文の埼玉大学機関リポジトリによる公表保留事由消滅に係る報告書

　　　年　　月　　日

埼玉大学長　殿

　私が執筆した下記の学位論文について、公表保留事由が消滅しましたので、学位論文の全文を埼玉大学機関リポジトリにより公表することを申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 論文名 |  |
| 学位を申請した研究科 |  |
| （フリガナ）  氏名（要自署又は記名押印） |  |
| 連絡先（Tel・e-mail） | Tel :  e-mail : |
| 指導教員（紹介委員）氏名  （要自署又は記名押印） |  |
| 学位授与年月日 | 令和　　　年　　　月　　　日 |
| 学位授与番号 | □甲　□乙　第（　　　　）号 |
| 学位の種類 | 博士（学術）（経済学）（理学）（工学） |
| 公表保留事由と事由消滅の内容 |  |
| 公表保留事由消滅年月日 | 令和　　　年　　　月　　　日 |
| 備考 |  |